

市町村名	本部町						
平成28年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑥	八重岳観光拠点整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部課名	建設課	事業実施(予定)年度	平成25~29年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制整備	
事業内容	日本一早い桜祭りとして有名な八重岳には毎年多くの観光客が訪れるが、今後も本部町の主要観光拠点としてアピールしていくためには、観光客に配慮した拠点整備が必要である。本事業において排水路整備を行うことは、法面崩壊と桜(緋寒桜)の倒木防止になり観光資源の保全と観光客の安全確保が図られる。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(30年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		27年度	27年度(繰越)	28年度	28年度(繰越)	29年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	112,249	-	131,686	-	
		(b)予算現額	112,249	-	131,686	-	
		(c)増減額(b-a)	0	-	0	-	
		(d)繰越額	-	109,970	-	119,188	
		A.計(b+d)	112,249	109,970	131,686	119,188	
	B.執行済額		2,177	60,979	12,312	119,187	
	うち交付金充当額		1,741	48,382	9,849	95,350	
	次年度繰越額		109,970	0	119,188	0	
	執行率(%) (B/A)		1.9%	55%	9%	100%	
予算の状況の説明		相続による遺産分割協議の調整及び抵当権抹消等に不測の日数を要したことから、工事スケジュールに遅れが生じたため繰越となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			28年度	29年度	30年度	31年度	
	排水工事の実施 L=430m 広場整備工事の実施 A=6,000m ² ・東屋1基		目標 (排水工事 L=430m (広場整備工事) A=6,000m ² ・東屋1基)	()	()	()	()
		実績 排水工事L=460m 広場整備工事 A=6,000m ² ・東屋1基					
達成状況説明		・排水路整備について460mの整備を行った。 ・広場整備工事については、東屋1基の整備を完了した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(30年度)
			目標	()	()	()	()
	排水工事の実施 L=430m 広場整備工事の実施 A=6,000m ² ・東屋1基		実績	排水工事L=460m 広場整備工事 A=6,000m ² ・東屋1基			
	【H30成果目標】 桜まつり来場者数 160,000人以上		目標	()	()	()	(160,000人以上)
進捗状況説明		・八重岳山頂付近から下流側親水性護岸工事までの間の排水路整備が完了したことで、土留め効果による法面崩壊の危険性除去及び桜の倒木防止が図られ観光客の安全性確保も図られた。 ・広場整備において東屋1基の整備を行い、観光拠点の環境整備が図られた。					

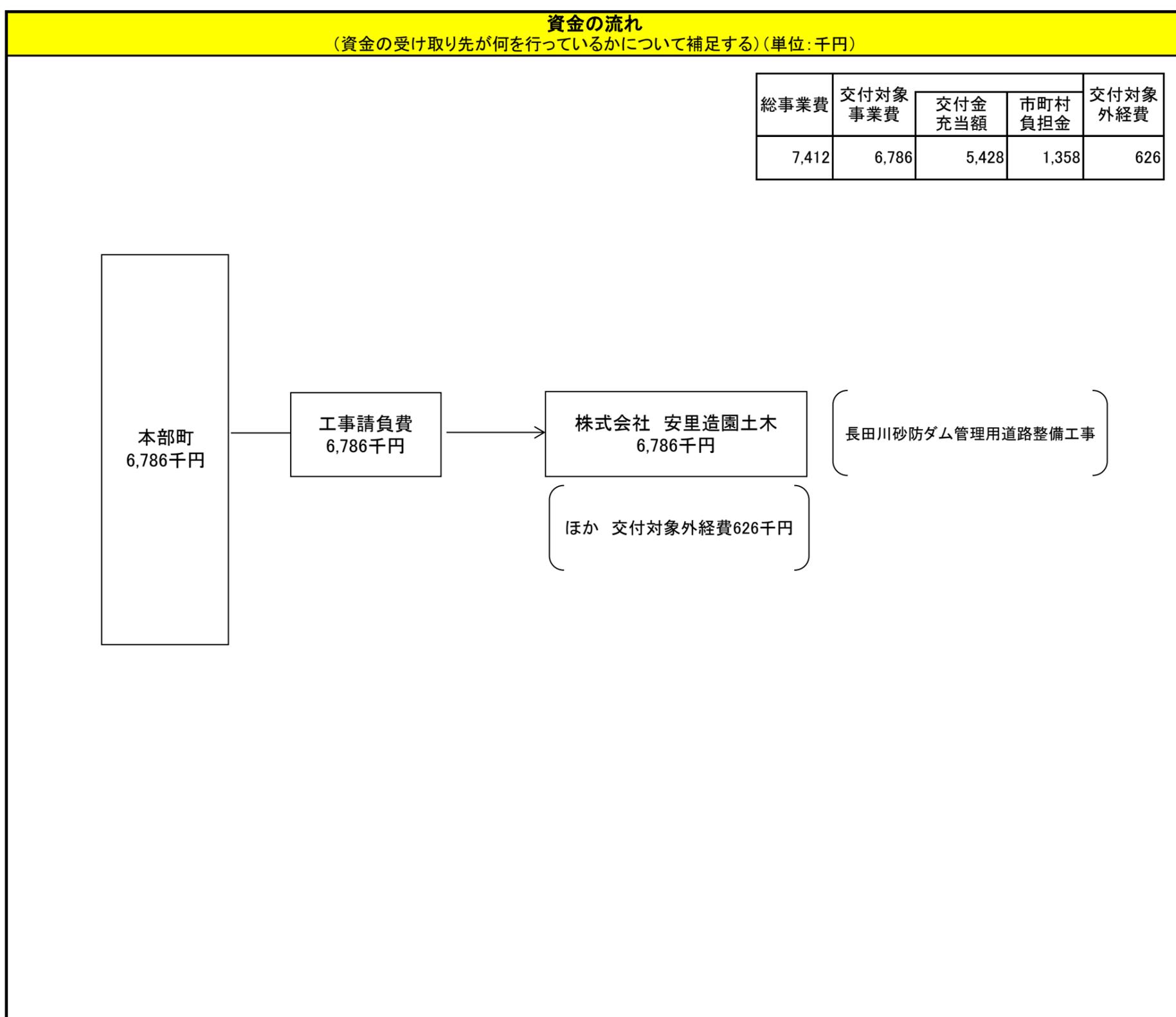
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・親水性護岸工事箇所に接している道路は地域住民の生活道路となっているため切土工事を行う際には、細心の注意確保が求められている。</p>	<p>・法面の切土においては、崩壊等の検討も考慮しつつ重機施工においては、細心の注意をもって工事を行う。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・H29～30年度にかけ、残りの排水路整備を完了させる。整備済み箇所の維持管理については、町が雇用している作業員により定期的に清掃活動を行っていく。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	131,499	131,499	105,199	26,300	0
<pre> graph LR A[本部町 131,499千円] --> B[工事費 131,499千円] B --> C[有限会社 阿嘉電水設備 12,312千円] B --> D[有限会社 比嘉建設工業 112,308千円] B --> E[株式会社 安里造園土木 6,879千円] C --- C1[八重岳観光拠点整備工事 (広場整備2工区)] D --- D1[八重岳線親水性護岸整備工事] E --- E1[八重岳観光拠点休憩施設整備工事] </pre>					

資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模について事業内容と見合っており適正であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	本部町						
平成28年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	赤土流出防止検討調査事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(1)-イ	
担当部課名	企画政策課	事業実施(予定)年度	平成24~30年度		沖縄振興基本方針該当箇所	陸域・水辺環境の保全	
事業内容	本町をはじめ沖縄県内で以前から問題とされてきている海洋への土壌流出について、本町内での発生源調査や、その発生源に対する土壌面の被覆、ほ場等周辺へのグリーンベルトの植栽配置及び流出源となる河川堆積土砂の浚渫、フィルター材の設置など、流出面から河川へ至るラインへの対策を実施することで赤土の流出抑制を図る。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(30年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		26年度	27年度	27年度(繰越)	28年度	28年度(繰越)	
	予算の状況	(a)当初予算額	20,000	20,000	-	6,786	-
		(b)予算現額	20,000	15,929	-	6,786	-
		(c)増減額(b-a)	0	▲4,071	-	0	-
		(d)繰越額	-	-	3,877	-	6,786
		A.計(b+d)	20,000	15,929	3,877	6,786	6,786
		B.執行済額	19,932	9,000	1,941	0	6,786
		うち交付金充当額	15,945	7,200	1,553	0	5,428
		次年度繰越額	0	3,877	0	6,786	0
		執行率(%) (B/A)	99.7%	56.5%	50.1%	0.0%	100%
予算の状況の説明	管理用道路工事に伴う切土施工箇所において、地中より大きな岩盤がでてきたため、掘削方法及び法面保護の施工方法の検討に不足の日数を要したため、平成29年度に繰越した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	流出対策事業(工事)	目標	(流出対策工事1箇所)	(流出対策工事1箇所)	(流出対策工事1箇所)	()	
		実績	工事未達成	工事1箇所完了	工事1箇所完了		
		目標	()		()	()	
	実績						
達成状況説明	赤土流出発生源と考えられる河川において、継続して赤土流出対策及び河川施設管理を行うための管理用道路の施工を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(30年度)
	管理用道路の整備完了:1箇所	目標	()	(1箇所)	()	()	()
		実績		1箇所			
	【H30成果目標】 長田川砂防ダム堆積土浚渫量 V=3,688.9m ³	目標	()	()	()	()	(3,688.9m ³)
		進捗状況説明	赤土等流出が発生すると考えられる河川において、施設管理を行うための管理用道路の施工を行った。河川施設(砂防ダム)へ大型車両の進入が可能となったことから、平成30年度に浚渫工事を予定し実施する。				

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>赤土等の流出箇所について流域ごとに調査を行い、流域上流部の畑地に対してグリーンベルトの植栽、発生源と思われる河川堆積土砂の浚渫工事及び河川施設の維持管理用道路の施工を行った。</p> <p>①畑地等の所有者に対して、赤土流出防止活動及び実施の周知を行っている中で、畑地の形状・作物・環境によって、グリーンベルト種のメリット・デメリットの意見があることから、各圃場に最適なグリーンベルト種の検討を行う必要がある。</p> <p>②また、農家独自でのグリーンベルト種の調達(購入)・植栽は消極的である。</p>	<p>①赤土流出防止活動の先進地区と情報交換を行うことにより、各環境に適したグリーンベルト種について検討し、農家に提案を行う。</p> <p>②検討結果の最適種について、本町所有の畑地において増殖及び管理を行い、農家に提供することにより、農家負担が少なくなるような仕組みを構築する。</p>
今後の取り組み方針		
<p>これまでに実施してきた流域ごとの流出源調査結果に基づき、流出対策が必要な地点の優先度を勘案して、順次、赤土流出対策を講じていく。</p> <p>平成30年度においては、赤土流出源の一つである砂防ダムの浚渫を行う。</p> <p>①今後は、畑地等の所有者に対して、畑地に適したグリーンベルト種の提案を行い、赤土流出防止の啓蒙普及活動に取り組んでいく。</p> <p>②別事業を活用し、町内団体へグリーンベルト種の増殖及び管理業務を委託し、グリーンベルト種の確保及び要望農家に対して提供を行っていく。</p>		



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。</p> <p>○予算規模については、適正な規模であったと考えている。</p> <p>○費目・用途については事業目的達成の観点から必要性を、事業費確定時において支出等に関する書類により確認し、その結果適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	